

製品名: BAX マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82570**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	21.2kDa

抗原情報

遺伝子名	BAX
別名	BCL2L4
遺伝子 ID	581.0
SwissProt ID	Q07812
免疫原	大腸菌で発現したヒト BAX(AA: (13-160))の精製組換え断片。

背景

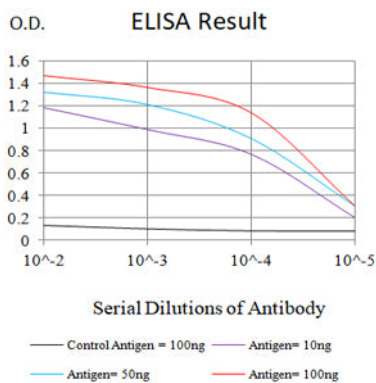
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、BCL2 タンパク質ファミリーに属する。BCL2 ファミリーのメンバーはヘテロ二量体またはホモ二量体を形成し、抗アポトーシスまたは促進アポトーシス制御因子として作用し、様々な細胞活動に関与する。このタン

パク質は BCL2 とヘテロ二量体を形成し、アポトーシス活性化因子として機能する。BAX と BCL2 の結合および比率は、アポトーシス刺激後の細胞の生存または死を決定する。このタンパク質はミトコンドリア電位依存性アニオンチャネル (VDAC) と相互作用し、その開口を促進することが報告されており、膜電位の低下とシトクロム c の放出につながる。この遺伝子の発現は腫瘍抑制因子 P53 によって制御されており、P53 を介したアポトーシスに関与することが示されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2019 年 12 月]

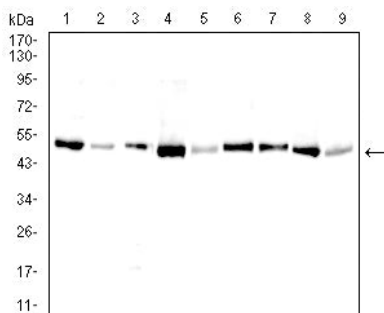
研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路

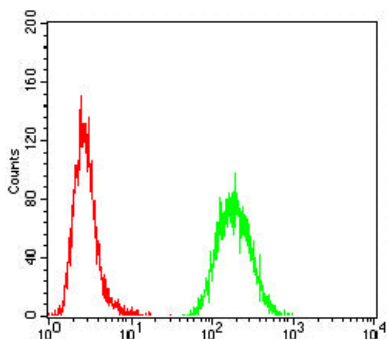
画像データ



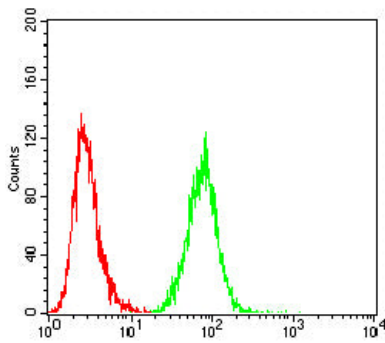
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



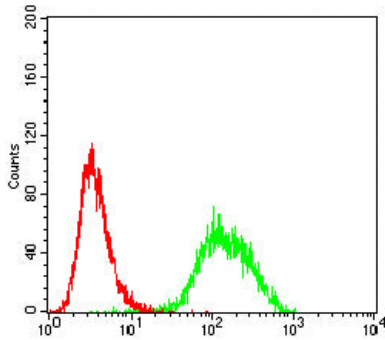
Hela (1) 、 C2C12 (2) 、 C6 (3) 、 HepG2 (4) 、 MCF-7 (5) 、 Ramos (6) 、 Raji (7) 、 HEK293 (8) 、 および HEK293-6e (9) 細胞溶解物に対する BAX マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



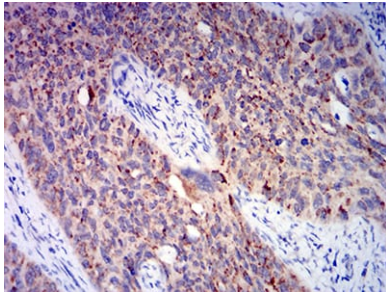
BAX マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



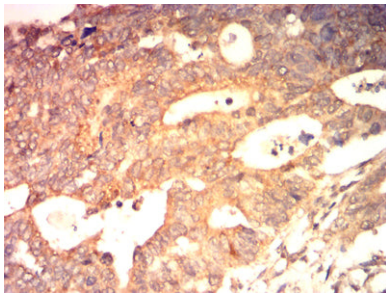
BAX マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hepg2 細胞のフローサイトメトリー分析。



BAX マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色を伴う BAX マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色を伴う BAX マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。